

## 東大病院先端医療シーズ開発フォーラム 2016～アカデミアからの挑戦～ 開催レポート

平成 28 年 2 月 2 日（火）、東京大学伊藤国際学術研究センターにおいて、東大病院先端医療シーズ開発フォーラム 2016～アカデミアからの挑戦～を開催いたしました。

東大病院では、先端医療開発研究を目的とした多彩な取り組みが進められています。臨床研究支援センター、トランスレーショナルリサーチ（TR）センター、早期・探索開発推進室、TR 戦略・推進室がこのような活動を支える基盤として整備されており、22 世紀医療センター、医工連携部、ティッシュ・エンジニアリング（TE）部、ゲノム医学センターがそれぞれ分野で積極的に活動しています。これらの組織を東大病院先端医療開発部門として位置づけ、フォーラムを通じて部局間の連携を深めるとともに、その多彩な取り組みを社会に広くアピールすることを目的として共同でフォーラムを開催しました。東大病院と密接に連携しながら医療機器開発を進めている工学部の「医療福祉工学開発評価センター」、人材育成を実践する「ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム」、東大の橋渡し研究を強力に推進する「東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ（TR 機構）」、未来の医療を創造するリーダーの育成を目指す「東京大学医療イノベーションイニシアティブ」、社会課題解決に向けた新しい人材の育成を目指す「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム（GSMD）」、産学連携オープンイノベーション拠点形成である東京大学「自分で守る健康社会」COI 拠点と、多くの組織が共催としてフォーラムに参加しました。

フォーラムの午前の部では、東大病院病院長齊藤延人先生の開会の挨拶に続いて東大内における先端医療開発の前線にある 6 つの研究について口演発表がなされました。フォーラムの午後の部の前半ではポスターセッション「シーズ見本市」と題して、各部門に所属する講座の研究内容を発表する 59 のポスター発表が行われました。演者による発表の後にフリーディスカッションの時間も設け、ポスターの前では熱い議論が続きしました。また P1 ユニット説明ブースや大学病院臨床試験アライアンス説明ブースも設け、活発な情報交換が行われました。後半には「アカデミアからの挑戦に求められるものとは」と題し、東京大学大学院医学系研究科の水島先生、神戸大学大学院医学研究科の飯島先生、東京大学大学院医学系研究科の小野先生、東北大学大学院医学系研究科の宮田先生による特別講演、引き続き PhRMA 藤本氏と PMDA 矢守氏も加わってのパネルディスカッションを行い、アカデミア臨床開発の今後に向けての示唆に富む活発な意見が交わされました。

フォーラムには 282 名が参加されました。本フォーラムが、医療における科学技術の推進、および医薬品・医療機器・医療技術の研究開発、そしてその成果の社会的な受け皿である医療産業の振興に尽力し、新たな医療システムの構築に向け社会に発信するための第一歩となることを希望しています。

東大病院先端医療開発フォーラム  
実行委員会 一同

